

# 義務教育9年間の 感謝の気持ちを合唱曲で発表 富士見中3年生

第 67 号



平成二十七年十一月一日

社会福祉法人 富士見会  
ふじみだより

秋も深まった 10月下旬、富士見中3年生全クラスが、2日間にわたりふじみデイサービスセンターを激励訪問。生徒達は義務教育9年間の感謝の気持ちを合唱曲に乗せて発表。ご利用者皆様も、終始素晴らしい合唱の調べに感動しておりました



3年1組

発表曲目	
1組	: 親知らず子知らず
2組	: 証
3組	: 走る川
4組	: 未来へ
5組	: Story
6組	: 虹



3年3組



3年2組



3年5組



3年4組

## 目 次

- P2~3 富士見中職場体験
- P4 上半期施設  
行事紹介
- P5 医務室だより  
整備工事竣工  
文芸作品紹介
- P6 温かい心に感謝  
お知らせ



3年6組

ホームページアドレス <http://fujimi-kai.or.jp>

## 将来社会の一員として 働く事の大切さを学ぶ

### 富士見中2年生

#### 職場体験学習

今年も地元富士見中の2年生6名が、将来社会の一員として生活する事の大切さを学ぶ「職場体験学習」で、特別養護老人ホームサンホームふじみを訪れました。その三日間をレポートします。

#### (第1日目)

- ・九月二十九日(火)
- ・地域密着型特別養護老人ホーム  
ふじみのさと

初日は、ユニット型特養の『ふじみのさと』での職場体験学習。6名の中学生全員が初めて訪れた老人ホーム。まず初めにユニット型施設の特徴等について説明をさせていただきます、その後入居者皆様

が10人ずつ生活している「ぬくもり」と「ひだまり」2つのユニットへ、3人一組に分かれました。

同じ町内でも足を踏み入れた事のない場所、同じ町民でも初めて会う沢山のお年寄りに生徒達は最初戸惑いや緊張が隠せない様子でしたが、職員のアドバイスのもと、入居者に自己紹介をしてからお互いの行政区の話がされたり、オセロや風船バレーや貼り絵等を一緒にされているうちに、入居者の皆様も中学生達も打ち解け、笑顔で話が弾んでいました。

昼食は入居者の皆様と中学生達と同じ食事を一緒にテーブルで食べていただきました。普段の入居者の皆様に合わせた味付けの食事を、生徒達は味わいながら食べていました。たった1日だけのユニット入居者の皆様と生徒達のふれ合いでしたが、最後はお互いに笑顔で手を振り「またおいで!」「ありがとうございました。」と明るい声が響いて、初日の職場体験学習を終えました。

(ふじみのさと 坂部記)

#### (第2日目)

- ・九月三十日(水)
- ・特別養護老人ホーム  
サンホームふじみ

職場体験学習2日目、今日も秋晴れとなりました。毎年この時期に実施される職場体験学習、始めにこのホームは一部屋四人で住まわっている生活の流れを説明しました。更に、生活しているお年寄りの方々がご自宅にいるのと同じような生活が過ごせるよう、職員が交代でお世話させて頂いていること、実際のお世話などを体験してもらいました。生徒達も初めはぎこちない様子でしたが、徐々に入居者の皆様とも会話が弾み、時間が瞬く間に過ぎていきました。生徒達の明るい笑顔で入居者の皆様も喜ばれていました。

職場体験を通して、生徒の皆様が自分の将来のあるべき姿を見つけて、少しでも役立てるような手助けが出来たら幸いです。

これからも、地域に根ざす高齢者福祉施設としての役割を果たし

ていければと思います。

(サンホームふじみ 木内記)

#### (第3日目)

- ・十月一日(木)
- ・ふじみ第1ティサービスセンター
- ・ふじみ第2ティサービスセンター

3日目は、ふじみティサービスセンターでの職場体験学習に来られました。生徒の皆さんにお話を聞いたところ、将来の夢は、「介護や福祉系」「看護師」「人と関わる仕事」などを目指したいと目を輝かせて話して下さいました。核家族の世帯が増えていく昨今、お年寄りと触れることも少ないため、少し緊張した様子の生徒も見受けられました。入浴後に髪をドライヤーでかける姿は初々しく、ご利用者皆様も嬉しそうな表情を浮かべていました。午後のレク活動は書道で、お年寄り皆様があまりにも上手に筆を動かす書かれています。生徒の皆さんは驚いていました。

(ふじみ第1デイ 蔵口記)





## 感謝の気持ち届く

「お礼の手紙」より

一部抜粋しました。

### ○ 生徒Aさん

先日は、大変お忙しい中、私たちの職場体験学習のために、いろいろとお世話いただき有り難うございました。この3日間、施設の方に支えてもらいながらたくさんの方の体験が出来ました。車イスで散歩に行った時は、たくさんのお年寄りの方とお話が出来て、これまで知らなかったことも知ることの出来た良い機会となりました。

### ○ 生徒Bさん

職場体験では、車イスの押し方や会話の仕方、食事の介助等いろいろ難しい事がありました。特にご老人と会話を続ける事が難しかったです。最後の日には少し馴れる事が出来ました。会話がすごく楽しかったです。良い体験となりました。

### ○ 生徒Cさん

初めての職場体験で緊張していた私たちを支えて下さり、本当に有り難うございました。この仕事は学ぶことがたくさんありました。楽しく勉強する事が出来ました。職場体験を通してこの仕事が好きになりました。また、職員の方々が入居者様の事を一生懸命に考え、接していた様子を見て、介護福祉士という仕事をしたいと思うようになりました。

### ○ 生徒Dさん

初日はとても緊張していて、不安でいっぱいでした。たくさん迷惑をかけてしまいました。職員の方

方が優しく教えて下さり、いろいろな事を学ぶことが出来ました。3日間という短い間でしたが、とても貴重な経験になりました。

### ○ 生徒Eさん

初めての場所で、どのように接しているのか分からないとき、職員の皆様が入居者様の接し方を教えてくれたので、お年寄りに負担をかけずに話すことが出来ました。認知症の方と話したとき、同じ

事を繰り返し聞かれて、私は少し

面倒くさいと思ったのですが、職員の皆様は、ずっと笑顔でいたので、さすがだなんて思いました。

また、コミュニケーションを持つ事、思いやりを重いやりにしないこと、自分で出来ることは手伝わらないなどの注意を知ることが出来ました。

デイサービスでは、折り紙を一緒に折って、会話が弾んで楽しかったです。更に、お年寄りが書道を真剣に行っている姿を拝見して、若々しいなと思いました。

### ○ 生徒Fさん

サンホームふじみの方は、みんな優しく、おもしろくて、3日間とても楽しく学習できました。

最初は、何をしてもいいかも分からず、大きな声で会話も出来なかったけれど、3日目はお年寄りの方と楽しく会話することが出来ました。

これから寒くなってきましたが、お体に十分気をつけて頑張ってください。



## 短冊に福を願う天の川

ふじみ第1デイでは、七月六日から3日間、七夕まつり集会を開催しました。

利用者皆様は、七夕飾りにそれぞれ思い思いの願い事を書き添え、竹の枝に結んでいました。

願い事には、「健康で長生きが出来ますように」、「家内安全」など。

なかには、「職員の皆様が健康で元気に働けますように」と短冊に願いをして下さった方もおり、胸が熱くなりました。

当日は、蒸かし饅頭の代わりに手作りの「クリームあんみつ」を作りました。皆様は、自分の好きな分をトッピングして召し上がり、美味しそうに自然に笑顔がこぼれておりました。『初めて食べた味だ』『あんことアイスが美味しかった』『若い頃食べたあんみつを思い出した』など嬉しい声があちらこちらから聞こえ、楽しい七夕行事となりました。

(ふじみ第1デイ 蔵口記)

## 会場がひとつになって 特養合同納涼祭

八月二十三日(日)夕刻、特養サンホームふじみ・ふじみのさとの合同納涼祭が実施されました。

当日はあいにくの雨模様となり、併設している第2デイサービスセンターへ会場を移しての開催となりました。

激励訪問の踊りや演奏の芸能発表を見ながら、曲に合わせて手を叩いたり一緒に踊ったりと会場一体になり、大変賑やかなひと時となりました。

また、模擬店では、焼きまんじゅうやかき氷など全部で七品が振舞われ、入居者・家族皆様の笑顔を沢山見る事が出来ました。

当日は、法人役員、学生ボランティアと地元小沢地区皆様のご協力にも支えられ、今年も大勢の皆様のご協力で盛会に開催する事が出来ました。

『演芸に出演戴いた団体の皆様』

- ・所替戸八木節愛好会様
- ・ウインド・アンサンブル様

・ラッキー会様

・日本ダルク・アウエイニング

ハウス様

(ふじみのさと 狩野記)

## 入居者の長寿を寿ぐ 特養合同敬老会

世の中・社会の発展を支えてこられた長寿の皆様を敬う「平成二十七年特養サンホームふじみ・ふじみのさとの合同敬老会」が、九月十九日(土)特養サンホームふじみのホールにて執り行われました。

当日は、星野理事長よりあいさつ後、本年度喜寿を迎えた方1人、米寿を迎えた方5人、卒寿を迎えた方6人にそれぞれ記念品が贈呈され、その後受賞者皆様は晴れやかに記念撮影におさまりました。続いて、前橋市ダンススポーツ連盟様に社交ダンスを披露して頂き、合同敬老会に花を添えて戴きました。

(ふじみのさと 布施川記)

## デイサービス納涼祭

ふじみ第1デイ、第2デイ合同納涼祭が、八月二十日から3日間にわたり催されました。尺八、詩吟、フラダンスなどの方々にお越し頂き、彩り豊かなフルーツバイキングを召し上がりながら聴き入り、楽しい一時を過ごしました。

利用者皆様は、昔の歌を懐かしみながら一緒に口ずさんだり、手振りや踊りをまねたりする姿がみられました。終わった後に「本当に良かったよ。懐かしかった」という嬉しいような声が聞かれました。

## デイサービス敬老会も開催

ふじみ第1、第2デイ合同で、九月二十一日から3日間にわたり、敬老会を行いました。今年も百歳を超える方も3名おられ、皆様から元気パワーをいただきました。皆様でビンゴゲームを行い、大きな声で、「ビンゴー」という元気な声があちらこちらで聞かれ、盛り上がりしました。

プレゼントを手にして皆様、嬉しそうな表情をしていました。

(ふじみ第2デイ 沢里記)

## 医務室だより (No.8)

### ロコモティブ

#### シンドロームについて

身体を動かすのに必要な器官に障害が起こり、自分で移動する能力が低下して要介護になる危険度が高い諸症状のことで、日本整形外科学会が提唱している概念です。

二〇二二年に厚生労働省が発表した第二次健康日本21では、十年後の二〇三二年までにこのシンドロームに対する国民の認知度を80%まで上げることが目標に掲げています。日本語名は「運動器症候群」、略称を、「ロコモ」と言います。

例えば歩く場合、目などから入ってくる外界からの情報を脳で受け止め、状況を判断した上で動作の指令を発し、神経がそれを手足に伝えて関節や筋肉を動かすというように、一連の器官が協調して働いている。そのため、歩行困難の原因を考える場合、単に骨、関節、筋肉の衰えだけにとどまらず、感覚器や神経などの働きも含めて

捉える必要があります。

ロコモティブシンドロームは、

特に高齢者において要支援、要介護に至る前の健康寿命をいかにして長く保つかという視点から、各

器官の機能低下だけでなく、全身的な協調性に着目するものです。

厚生労働省の調査によれば、要支援、要介護になる原因の1位は運動器障害であり、よく知られている脳血管障害や認知症よりも高率

であることから、ロコモティブシンドロームの予防は健康寿命延長

の大きな要因となります。ロコモティブシンドロームのチェックポイント

は次の7点になります。

一 片脚立ちで靴下がはけない。

二 家の中でつまずいたり滑ったりする。

三 階段を上がるのに手すりが必要である。

四 横断歩道を青信号で渡りきれない。

五 15分ぐらい続けて歩けない。

六 2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難である。

七 布団の上げ下ろしなどの家のやや重い仕事に困難である。

このチェックポイントを参考に、介護予防に役立ててみて下さい。

(医務 池田記)

### 施設入り口周辺の整備工事竣工

富士見会では、今年度施設東側入り口周辺の整備工事を進めてきましたが、このほど事故もなく無事に竣工することが出来ました。

工事中は、皆様に大変ご迷惑をお掛け致しましたが、駐車スペースのラインや車止めも設置致しましたので、施設へお越しの際は、決められた区画線内に必ず駐車下さるようお願い致します。

なお、駐車場が混み合っている場合は、ふじみのさと南側の駐車場をご利用して下さい。

(総務課

大津記)



### 入居者・利用者様の

#### 文芸作品紹介

- ・夜が明けて 施設の朝は賑やかだ
- ・カラオケで 明るい気持ち取り戻す
- ・向日葵の 花咲き乱れ夏来たり
- ・年重ね 施設に入る悲しさに 介護の人の温もりを知る

(サンホームふじみ入居者 矢澤みや子様)

- ・芋の葉に 朝露乗せて遊ぶ風
- ・一斉に 鳴き出す蝉の風下がり
- ・指先で しおからトンボの目を回し
- ・コスモスに 話しかけ一人言
- ・赤トンボ 覗いているよテイの窓
- ・木犀の 甘き香りが秋告げる
- ・虫の声も 細々秋の夜は更ける

(ふじみ第2テイ利用者 井上 縫 様)



温かい心に感謝

皆様の善意に心から

厚くお礼申し上げます。

- 八洲総合石材 小林勇様より  
金 一万円
- 國松光子様より  
金 三千元
- 富士見ラッキー会様  
金 五千元
- 井野ます江様より  
金 五千元
- 所替戸八木節愛好会より  
ティッシュ 六十箱
- 宮越サタ子様ご家族より  
サバ水煮缶 四十八缶
- 風ラインふじみ様より  
米 二十kg
- 小暮一美様ご家族より  
紙オムツ 十九枚
- 紙パンツ 二枚
- お尻ふき 八十枚
- 田村福司様ご家族より  
食事前エプロン 二百枚
- 尿取りパット 百六十六枚
- 紙オムツ 三十四枚
- 塩澤正男様より  
米 百二十kg
- 大谷吉伸様より  
生バラ 二バケツ
- 高山夏雄様より  
ほつれん草 七kg
- 土谷安信様より  
金 三万円
- 浅野武男様より  
尿取りパット 七十六枚
- 紙オムツ 七十枚
- 志塚ふみ系様より  
石けん 十個
- 演歌のカセットテープ  
二十八本
- 鈴木サワ様  
金 五万円
- 矢澤みや子様ご家族より  
金 二万円
- 恩田弘隆様より  
石けん 六個
- 岡田博巳様より  
バスタオル 六枚
- タオル 二十七枚
- 小林令子様ご家族より  
ふぶごう 十kg
- 小林さと様ご家族より  
金 二万円

- 原澤末江様ご家族より  
さつま芋 十九kg

お知らせ

◇ 年末年始のご利用日

・特別養護老人ホーム

サンホームふじみ併設

ショートステイ

年中無休で対応します。

・ふじみ第1・第2

デイサービスセンター

年末 十二月三十日(水)まで

年始 一月四日(月)より

・ふじみ居宅介護支援センター

年末 十二月三十日(水)まで

年始 一月四日(月)より

・地域包括支援プランチふじみ

年末 十二月三十日(水)まで

年始 一月四日(月)より

但し、緊急の場合は、2888-

18000へご連絡下さい。

編集後記

ここに皆様のご協力を頂き、ふじみだより第六十七号を発行することが出来ました。

今、施設の庭には鮮やかな黄色のツツフキの花が咲き誇り、いよいよ秋の深まりを告げています。中庭では、自生している「寒ワラビ」別名『冬の花ワラビ』が芽を出して、他の植物が枯れる冬も元気に越そうとしています。

これからの季節、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が勢いを増してまん延してまいります。手洗い、うがい等の予防を励行しましょう。

(広報副委員長 石井記)

ふじみだより 第六十七号

発行日 平成二十七年十一月二日

社会福祉法人 富士見会

発行人 星野好孝

〒三七一〇一五

前橋市富士見町小沢二〇七番地一

TEL 〇二七二二八八八三二一